

筑波大学周辺における飲食店の分布に関する考察

陳 麗娜(地球科学専攻)

- 1.目的:**本研究は筑波大学周辺の飲食店の分布状況と店舗属性との関係を明らかにすることを目的とする。
- 2.調査範囲:**西大通と東大通に挟まれた北大通りと藤沢豊里線の間及び大学付近の桜町である(図1)。
- 3.研究方法:**まずGPSを用いて、大学周辺の店舗をウェイポイントで記録した。その際に、料理の種類や営業時間、駐車場の規模などの情報をフィールドノートに記録した。次に、取得したデータをArc Mapに取り込み、ZENRIN2008年つくば市の地図をベースマップとして分布図を作成した。そして、道路バッファや大学中央に位置する総合研究棟Aを中心に「多重リングバッファ」をかけ、店舗分布と駐車場規模との関係、大学中央と店舗との距離などを分析した。
- 4.結果・考察:**調査範囲内には149軒の飲食店があり、その中で、定食屋や、ラーメン屋、居酒屋などの和食屋は最も多く、計84軒ある。中華料理や、イタリア料理、韓国料理も数多く分布している。大学中央

に近い天久保3丁目、学生が集住している春日4丁目と天久保2丁目には飲食店が集中している(図2)。

店舗の駐車場の規模に関しては、西大通と東大通の両側、特に平塚線と交差する道路周辺の駐車場は広く、殆どは10台以上駐車できる。一方、大学中央周辺の店の多くには駐車場が設置されていない。その理由としては、それらの店は学校に近接しているため、自転車や徒歩で来る学生が多いことが考えられる(図3)。

大学中央を中心として、500mごとの多重バッファに基づき、UnionとSpatial joinの方法で500mごとの店舗数を集計した。大学中央から500m以内の店の殆どが昼食と夕食の時間帯ともに営業していることが分かった。500m~1000mの間には夕食の時間帯だけ営業する店が多い。この周辺はコンパを行う学生を主な顧客とする居酒屋が多いためである。1500m~2500mの間には学生が集住するマンションとアパートが多いので、昼夜とも営業する店も多い(図4)。

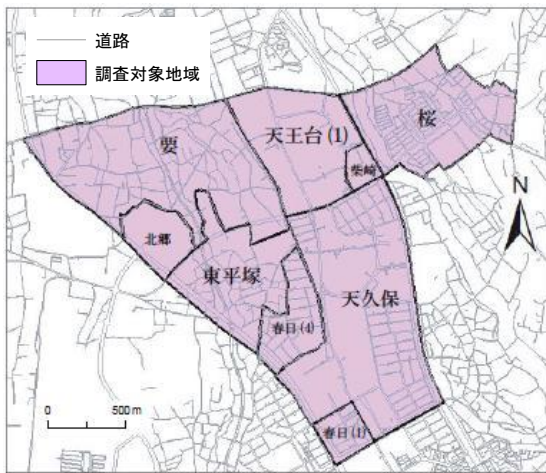


図1 調査対象地域



図3 店舗の駐車場の規模

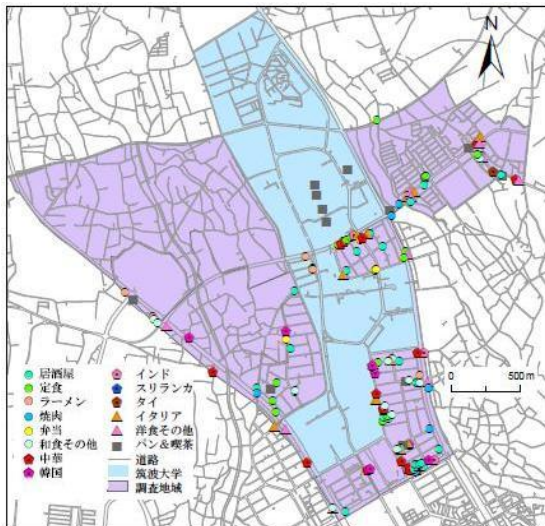


図2 店舗の分布および種類

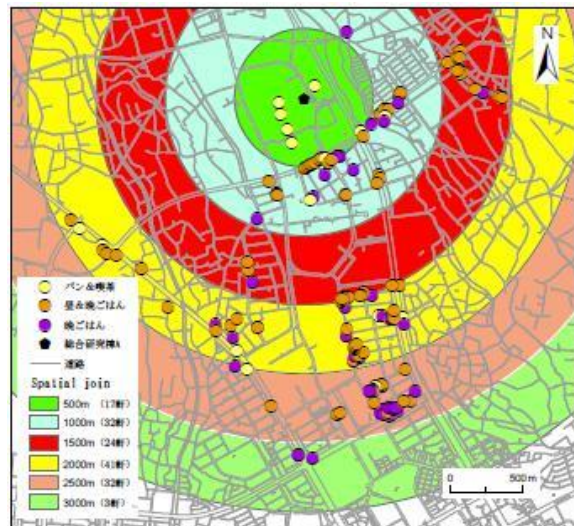


図4 店舗の営業時間